

エル (1953)

EL

メディア 映画
ジャンル ドラマ ロマンس
製作国 メキシコ
色彩 B&W
時間 92分
初公開日 1987/08/29
公開情報 ヘラルド・エース

【解説】
メキシコ時代のブニュエル作品としては、後期の作品に共通するテーマを最も持った危険な映画。敬虔なカトリック信者で品行方正、四十過ぎても未だ童貞というフランシスコ（デ・コルドヴァ）は教会で会った美しい脚の持ち主グロリアにひと目惚れし、婚約者のいるのも構わず彼女と結婚した。しかし、彼は異常な嫉妬心の持ち主で、彼女に少しでも関わる全ての男を疑いの目で見、寝ている彼女をロープや鉄で脅かすばかりでなく、ついには塔からつき落とそうとするのだが。反カトリシズム、盲愛、自己抑圧とその反動の加虐、フェチシズム……後のブニュエ尔的要素のストレート・フラッシュが見られる本作は、精神医学の権威ジャック・ラカンが講義にも使用したといういわくつきの作品だが、主人公のあまりのファナティックさは、やはりメキシコ映画である由縁だろう。清々しいくらいのプツンぶりなのだ。

【クレジット】
監督 ルイス・ブニュエル Luis Bunuel
原作 メルセデス・ピント
脚本 ルイス・ブニュエル Luis Bunuel
 ルイス・アルコリサ Luis Alcoriza
撮影 ガブリエル・フィゲロア Gabriel Figueroa
音楽 ルイス・ヘルナンデス・ブレトン
出演 アルトゥーロ・デ・コルドヴァ Arturo de Cordova
 デリア・ゲルセス
 アウローラ・ワルケル